

		講義日程・時間	
		8月 30 日 水 曜日	1～2 限目
1. 授業科目名	ADHDの理解と学校連携		
2. 担当教員名	江上 千代美		
3. 授業の概要	ADHDについて神経心理的観点から理解を深め、障害特性を考慮した支援のあり方を学ぶ。さらに、子どもの行動と心理検査WISC-IVの結果から子どもの理解と効果的な支援について考える機会とする。		
4. 到達目標	ADHDのニード(困り感・つまづき)に対する認識を深め、連携を行いながら対象児童に効果的に対応できる手立てを考える。また、心理検査WISC-IVについて理解し、効果的な支援につなぐことができる。		
5. 授業内容・授業方法等	コマ	授業内容	授業方法
	1	・ADHDの定義 ・ADHDの特徴 ・WISC-IVの理解	講義・演習
	2	・WISC-IVの理解 ・発達障害への支援	講義・演習
6. テキスト・参考文献等	一般社団法人日本LD学会、特別支援教育士資格認定協会:LD・ADHD等の心理的疑似体験プログラム第3版 上野一彦,松田修ら:日本版WISC-IVによる発達障害のアセスメント,日本文化科学社. 坂爪一幸・湯汲英史:知的障害発達障害のある人への合理的配慮、かもがわ出版,2015. 本田恵子:キレやすい子へのソーシャルスキル教育,ほんの森出版,2011. エマ・ウィリアムズ,レベッカ・バーロウ:アンガークントロールトレーニング,星和書店, 2012.		
7. 成績、評価方法・基準	成績は講義演習の最後の時間内に筆記試験を行い、試験の結果60点以上を合格とする。		
8・特記事項			

		講義日程・時間	
		8月 30 日 水 曜日	3-4 限目
1. 授業科目名	学校保健で使えるテーピング ～その理論と実際～		
2. 担当教員名	松井 宏樹		
3. 授業の概要	捻挫、肉離れ、打撲、といった、軽度のスポーツ外傷について、応急処置(RICE処置)を実技を踏まえて、理解する。突き指、足首の軽度の捻挫に対するテーピングを実技を通じて理解する。		
4. 到達目標	捻挫、肉離れ、打撲、といった、軽度のスポーツ外傷について、応急処置(RICE処置)を行い、病院に送院するまでに悪化を防ぐ。突き指、足首の軽度の捻挫に対するテーピングを実施し、病院に送院するまでの悪化を防ぐ。ことができる。		
5. 授業内容・授業方法等	コマ	授業内容	授業方法
	1	スポーツ外傷について、その内容と、応急処置について	資料を使って説明
	2	足首、指、手首のテーピングを2人1組になって、実習	テーピングチャートを使って、実習
6. テキスト・参考文献等	テーピングチャート。		
7. 成績、評価方法・基準	特になし		
8・特記事項	スカート、ストッキングは不可、		